



令和7年度

八代市立八代支援学校

グランドデザイン

校訓 楽しく、仲よく、元気よく

〈学校教育目標〉 「ゆたかな心、たしかな力」の育成

ゆたかな心

- 興味・関心をもつ
- 感じたり、表現したりする
- 目的、見通しをもつ
- 向上心をもつ
- 穏やかに過ごす
- 感謝する気持ちをもつ

(子供) 八代支援で学んでよかった
(保護者) 八代支援で学ばせてよかった
(教職員) 八代支援で教えてよかった

→ 子供、保護者から選ばれる学校

たしかな力

- 生活力 (楽しむ・暮らす・働く力)
- コミュニケーション力 (意思を伝え合う力)
- 健康、体力 (健康で元気に過ごす力)



発達段階や学部が果たす役割を踏まえた「たしかな」力を育む授業づくり

重点事項

八代地域における特別支援教育のセンター的機能の発揮

目指す学校像

- 子供が安心して安全に学べる学校
- 一人一人に合った合理的配慮と専門的な教育を効果的に展開できる学校
- 地域に開かれ、保護者とともに歩む学校

目指す教師像

- 教育的愛情をもち、子供・保護者から信頼され、不祥事を起こさない強い信念をもつ教師
- 専門性を自覚し学び続ける教師
- 互いを尊重し助け合える教師

シンプルで「しん」のある教育〈芯、心、信、新〉

〈育成を目指す資質・能力〉 ①生活する力 ②働く力 ③人と関わる力

〈経営の基本〉 ○自他の命や人権を大切にする教育
○子供に寄り添い、子供の事実から学び、子供の可能性を伸ばす教育

〈判断基準〉【子供】いのち、思い、可能性 【教職員】学び合い、支え合い 【保護者】信頼

目標達成に迫る取組

文化・芸術に触れる活動の充実

学習上・生活上の困難の改善につながる自立活動の授業実践

個別的教育ニーズに即した指導と学習グループによる指導の組み合わせ

学ぶ楽しさを感じ、できるようになったことを実感できる授業づくり

HP等、積極的な情報発信と八代地域のニーズに応える研修・相談支援

ICT機器を効果的に活用した実践の蓄積と成果の共有

居住地校や近隣校、関係機関等と、互いのねらいを明確にした交流および共同学習

〈3つの学部を横断〉 自立活動 ～児童生徒の**中心的な課題**に迫る指導～

学校経営—分掌経営—学部経営の一貫性

小学部

連携・学びの連続性

中学部

連携・学びの連続性

高等部

○一人一人の健康と安全に配慮した教育環境の整備・充実

○看護師、教員、養護教諭、担任がチームとして連携した安全・安心な医療的ケアの実施

○ヒヤリハットの情報共有、緊急時や災害時に対応した訓練等の実施と改善・充実

子供が安全・安心に過ごせる教育環境の整備、充実